

科目名	選択ダンススキル10							年度	2026	
英語科目名	Selective Dance Skills 10							学期	前期	
学科・学年	ダンスパフォーマンス科	2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	akari kamayachi		教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダンサー		

【科目の目的】

この科目ではJAZZダンス中上級のダンススキルの強化を行います。基本動作（プリエ、タンジェ、ルルベ、ロンデジャンプ）からターン、クロスフロアーの動作を理解したうえで振付を通して表現力を学びます。またプロダンサーとしての様々な楽曲に対してのアプローチ方法や、技術的、表現力的な対応力を養う事を目的とします。

【科目の概要】

この科目ではバックダンサー、テーマパーク、ミュージカル等オーディション対策となるJAZZ基礎の強化およびJAZZダンス中上級のコンビネーションの習得を目標とします。エンターテインメントの世界で最も必要とされるJAZZダンスの基本動作を理解した上で、学生それぞれの個性を表現できるダンサーとしての軸を強化します。

【到達目標】

- A. JAZZの基礎的なステップを理解、習得している。
- B. 振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付けている。
- C. 振付を時間内に習得し自分のものにする事ができる。
- D. クリアな踊り、個性を出す踊り共に身に付けている
- E. 音楽に合わせて何通りもフリースタイルで踊る事が出来る

【授業の注意点】

現状のダンスレベルに関係なく、誰でも参加可能です。ただレッスン内容はプロダンサー育成を目的としているため、上級者向けのレッスン内容となっています。初心者の方は自主練集をしっかりと行ってください。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	受講態度も良くJAZZの基礎的なステップを理解、習得している。	受講態度も良くJAZZの基礎的なステップをやや理解、習得している。	JAZZの基礎的なステップをやや理解、習得しているが受講態度が良くない。	JAZZの基礎的なステップの理解、習得度が低い。	受講態度も悪くJAZZの基礎的なステップの理解、習得ができていない。
到達目標 B	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付けている。	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。	振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている受講態度が良くない。	振付に合わせた最適な表現方法の習得度が低い。	受講態度も悪く振付に合わせた最適な表現方法の習得が出来ていない。
到達目標 C	受講態度も良く振付を時間内に習得し自分のものにする事ができる。	受講態度も良く振付を時間内に習得できるが、個性を出せない場合がある。	受講態度も良く振付を時間内に習得できるが、個性を出せない。	振付を時間内に習得する事はできる。	受講態度も悪く振付を時間内に習得する事ができない。
到達目標 D	受講態度も良くクリアな踊り、個性を出す踊り共に身に付けている	受講態度も良くクリアな踊りは出来るが、個性を出す踊りも多少できる。	受講態度も良くクリアな踊りは出来る	クリアな踊りに不安があり、個性が強い踊りになる	クリアな踊り、個性を出す踊り共に出来ていない。
到達目標 E	受講態度も良く音楽に合わせて何通りもフリースタイルで踊る事が出来る	受講態度も良く音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる	音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる	短い時間であればフリースタイルを踊れる	フリースタイルで踊る事が出来ない

【教科書】

適時レジュメ・資料を配布する

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する
 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		選択ダンススキル10			年度	2026
英語表記		Selective Dance Skills 10			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	JAZZへの理解を促す	1 基礎力チェック	JAZZの基礎をどの程度理解・実行できるか知る	2	
			2 フィードバック	自分の基礎力を客観的に確認する		
			3 反復練習	フィードバックを受けて反復練習を行う		
2	JAZZ基礎1	ストレッチ アイソレーション	1 ストレッチ	JAZZで使用する筋肉を意識する	2	
			2 アイソレーション	JAZZで使用する身体の可動域を意識する		
			3 復習	ストレッチ・アイソレーションを習得する		
3	JAZZ基礎2	クロスフロア	1 クロスフロア1	クロスフロア1を習得	2	
			2 クロスフロア2	クロスフロア2を習得		
			3 クロスフロア3	クロスフロア3を習得		
4	JAZZ基礎3	楽曲に合わせた クロスフロア	1 クロスフロア1-2	様々な楽曲でクロスフロア1を実践	2	
			2 クロスフロア2-2	様々な楽曲でクロスフロア2を実践		
			3 クロスフロア3-3	様々な楽曲でクロスフロア3を実践		
5	JAZZ応用1	振付1	1 振付1	振付1を習得	2	
			2 フィードバック	振付・表現力に対するフィードバック		
			3 反復練習	フィードバックを受けて反復練習を行う		
6	JAZZ応用2	振付2	1 振付2	振付2を習得	2	
			2 フィードバック	振付・表現力に対するフィードバック		
			3 反復練習	フィードバックを受けて反復練習を行う		
7	JAZZ応用3	振付3	1 振付2	振付2を習得	2	
			2 フィードバック	振付・表現力に対するフィードバック		
			3 反復練習	フィードバックを受けて反復練習を行う		
8	基礎 コンビネーション 1	テクニックと ルーティーン1	1 振付	8×8カウントの振付を習得	2	
			2 テクニック	振付の中で表現のテクニックを習得		
			3 反復練習	フィードバックを受けて反復練習を行う		
9	基礎 コンビネーション 2	テクニックと ルーティーン2	1 振付	8×8カウントの振付を習得	2	
			2 テクニック	振付の中で表現のテクニックを習得		
			3 反復練習	フィードバックを受けて反復練習を行う		
10	応用 コンビネーション 1	短い振付と 表現	1 振付	8×8カウントの振付を習得	2	
			2 テクニック	振付の中で表現のテクニックを習得		
			3 発表	グループごとに発表		
11	応用 コンビネーション 2	長い振付と 表現	1 振付A	8×8カウントの振付を習得	2	
			2 振付B	8×8カウントの振付を習得		
			3 発表	振付A+Bをグループごとに発表		
12	応用 コンビネーション 3	振付発表	1 振付A+B	振付A+Bを復習	2	
			2 テクニック	振付の中で表現のテクニックを習得		
			3 発表	少人数での発表		
13	レベルチェック	強み・弱みの 確認	1 振付+フリースタイル	8×8カウントの規定振付とフリースタイルダンス	2	
			2 発表	グループごとに発表		
			3 フィードバック	各自の強み・弱みを確認		
14	模擬 オーディション 1	振り入れ	1 振り入れ	16×8カウントの規定振付を制限時間内に習得	2	
			2 フリースタイル	各自フリースタイルを考える		
			3 発表順決定	模擬オーディションの発表順を確定		
15	模擬 オーディション 2	オーディション形式 で理解度を確認	1 模擬オーディション	オーディション形式で課題を発表	2	
			2 フィードバック	各自の強み・弱みを確認		
			3 復習	フィードバックを意識し、再度振付に挑戦		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等